

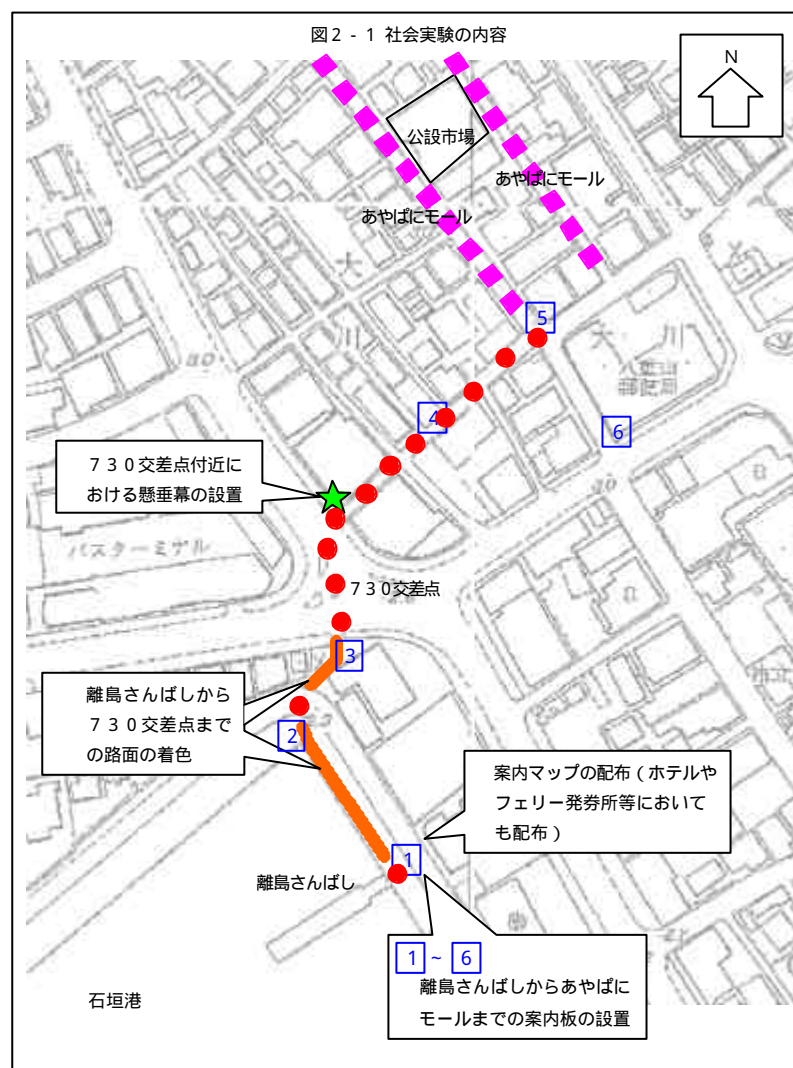
平成 1 5 年度 港を中心としたまちづくり検討調査

1 . 応募団体名	石垣市 担当：建設部港湾課計画係 豊里 好文 連絡先：電話番号 0980-82-4046 電子メール：y-toyoza@city.ishigaki.okinawa.jp
2 . 調査名	平成 1 5 年度 港を中心としたまちづくり検討調査
3 . 推薦団体名	なし
4 . 調査の対象地域	
(1) 対象となる行政 区域名、地区名等	石垣市（沖縄県） 美崎町周辺地区
(2) 対象となる行政 区域及び地区の特 徴	石垣市人口 約 4 5 千人 対象地区：石垣港離島埠頭及び周辺の商業地域 （中心商店街）
5 . 提案した活動の内容	
(1) テーマ、課題	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりに貢献する港づくり ・港から中心商店街地区への観光客の誘導 ・中心市街地の活性化
(2) 本調査費による 活動内容の概要	<p>本調査により行われた活動内容の概要</p> <p>1 . 石垣のみなと女性フォーラムとの懇談会 1 回開催（平成 1 6 年 2 月） 女性フォーラム、T M 石垣、行政関係者など 1 0 人参加</p> <p>2 . 社会実験（平成 1 6 年 2 月 1 6 日～ 2 月 2 9 日 実施） 美崎町地区で石垣港離島埠頭から中心商店街 への動線誘導を図るための看板の設置や歩道の カラー化、アンケート等を実施。 アンケートに 1 7 9 名から回答</p>



石垣のみなと女性フォーラム
との懇談会

路面のカラー化



石垣港離島ふ頭から中心商店街までの区間で実施

	<p>本調査以外の財源を投じたり、あるいは経費をかけずに、本調査の一環として行った活動内容の概要。</p> <p>1. 沖縄総合事務局石垣港湾工事事務所・石垣市主催「港を中心としたまちづくりシンポジウム」(平成16年3月2日)参加人員 約200名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基調講演や地元での取組状況の紹介、パネルディスカッションを通して、港と市街地のまちづくりについて意見の交換を行った。 <p>2. 地元紙マスコミへの情報提供(16年2月)</p>
6. 本調査と関連する活動実績	<p>1. 石垣市商工会による「平成15年度空き店舗活用起業支援事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空き店舗に対する支援事業や毎月18日は「市場の日」と設定し公設市場前にてイベントを開催。 <p>2. 内閣府沖縄総合事務局主催、「石垣市中心市街地活性化シンポジウム」(平成15年12月3日)参加人員 約200人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「訪れて、住んでみたいまちづくり」をテーマにパネルディスカッションを通して、石垣市中心市街地活性化の方策について意見を交換。
7. 本調査の成果等、本調査の実施過程で顕在化した課題など	<p>1. 社会実験の成果と課題</p> <p>(1) 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 案内板や懸垂幕は人の流れを誘導する上で設置の取り組み事態は有効であった。 ・ 懸垂幕は適当な大きさと分かりやすい。目印になりやすい。 ・ 路面着色についてはミンサー織り模様の着色は、石垣をPRするのに有効であり、美観・景観上の役割も大きい。 ・ 案内マップは持ち歩きができ有効である。 <p>(2) 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 案内板はデザインや設置場所、見やすさ(サイズ、大きさ)等のバランスにもっと配慮して検討することが必要。 ・ 路面着色については実験の仕様では着色区間が分断されており、連続性が必要。模様だけだとなんのためのものか分かりづらいので

直接文字を入れるなどの検討が必要。

- ・ 案内マップはデザインや記入する情報の量
- ・ 質については検討が必要。

2. 港づくり・まちづくりの課題

(1) 離島桟橋周辺

- ・ 待合いスペース等のボリューム的な問題や、(船の)案内の不足、ごみ、吸い殻などの美化面での指摘が多くあげられた。

(2) あやぱにモール、公設市場周辺

- ・ 来訪者側からは、活気のなさ営業時間の短さなどの指摘が多い。
- ・ 商店側からは、案内板や路面着色等の継続も必要だが、観光会社との連携や商店街の魅力の向上が求められている。

(3) 交差点

- ・ スクランブル化を望む意見は高い。

(4) その他

- ・ モールや公設市場のさんばしにおけるPR、複数ルートのネットワーク化、安全で歩きやすい路面の整備

今回の調査より、中心市街地の賑わいづくりを実現するには、まちづくりと港づくりの連携が重要であることが確認できた。

また都市再生にあたっては(株)タウンマネージメント石垣の役割が重要であり、今後も連携をしながら都市再生を推進する必要があると考えている。